

# ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進プラン 第1回検討会議

## 日時

平成23年7月28日（木）10時から12時まで

## 場所

京都府庁旧本館会議室2-L（京都市上京区下立売通新町西入）

## 議事

プランに盛り込む内容について

## 内容

### 事務局よりプランのたたき台について説明

#### 1 検討する施策（抜粋）

##### (1) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進

インセンティブの付与

企業イメージの向上のための周知

公共調達において優先的に取り扱うなどの公契約上の配慮 など

##### (2) 多様な働き方・生き方の選択を可能にするための方策

安心ゆりかごサポート事業の拡充

起業を奨励する顕彰制度の創設

地域団体・NPO・大学・企業などの地域主体の連携による取組  
の推進 など

#### 2 委員の主な意見

##### (1) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進について

・中小企業といっても、家族経営的なところから、雇用管理のしっかりした企業まで実態は様々であり、ワーク・ライフ・バランスを一律に進められるものではない。

・零細企業では、そもそも就業規則も整備できていなかったり、社員数が少なく、1人が産休や育休を取ったらたちまち仕事が回らなくなるという実態がある。就業継続してほしいとしても、その穴を埋める方法がない。一方で社員の事情に合わせて勤務時間の融通をするなどの対応をしている面もあり、ルールをつくれればよいというものでもない。

・働く女性の側の意識改革も必要である。

・ワーク・ライフ・バランスの前にまず「雇用」があるのかという問題があるため、企業をどのような分野で支援するのか検討しなければならない。

インセンティブの付与

・人をひとり雇用すると長期的にコストがかかることになる。奨励金等による企業支援を検討する際には、一時的なコストに対する補助ではなく、3年スパンぐらいでの継続的なものが望まれる。

#### 企業イメージの向上のための周知

- ・取組企業を評価し、周知する制度である「京都モデル」子育て応援中小企業認証制度の対象を子育てと仕事の両立だけでなく、介護まで含めた制度にできないか。
- ・取組企業のイメージ向上については、8月に開設予定の「中小企業人財確保センター」と連携して取り組むべきである。

#### 公契約上の配慮

- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業に対する公契約上の配慮は、インセンティブとしてわかりやすい。
- ・公契約上の配慮については、行政がばらばらにやるのではなく、足並みをそろえて取り組むべきである。

### (2) 多様な働き方・生き方の選択を可能にするための方策について

- ・仕事と子育ての両立支援はありがたいが、女性もしっかり働くべきという方向に偏るべきではなく、しっかり子育てをしたいなど、いろんな生き方が尊重されるべきである。
- ・働きたいという気持ちはあっても、家事や生活全般をマネジメントし、子育てと両立できる人は少ない。そのようなノウハウを提供することが重要である。
- ・子育て中は行動範囲が地元だけになるため、そこでどのような支援が受けられるかが重要である。府がやっているから市町村はやらないということになれば、遠方の方はサービスが受けられない。そのようなことがないように府と市町村の連携をお願いしたい。
- ・能力があるのかないのかわからないまま雇用するのは企業にとってリスクとなる。子育て中の女性など能力があっても生かしていない人がたくさんいるので、そのような人を生かせるよう、人材バンクのようなものがあればよい。

#### 安心ゆりかごサポート事業の拡充について

- ・保育園が絶対的に不足しており、入れるところに入れるしかない状況がある。就職後保育所が決まるまでの保育を行う安心ゆりかごサポートの必要性を感じる。
- ・育児休業中に保育所が決まらず復帰できない例がある。安心ゆりかごサポート事業の拡充は必要である。

#### 起業を奨励する顕彰制度の創設について

- ・今は様々な起業支援が充実しているが、起業するということは大変な覚悟がいることなので、本当にやりたいという人にしか奨励すべきではない。
- ・顕彰制度は、女性の起業支援として必要である。顕彰のフレームを工夫すべきである。

#### 地域団体・NPO・大学・企業などの地域主体の連携による取組の推進について

- ・ワーク・ライフ・バランスや起業支援について学生に周知することは有意義であり、地域と大学の連携や、起業の顕彰制度などは、学生も対象に実施していくべきである。
- ・子育て中は、いきなり就職することが難しい人もいるため、地域活動やNPOの活動への参加など次のステップにつながる受け皿が必要である。